

国際会議の開催状況について

1 2016年（平成28年）国際会議統計について（出典：日本政府観光局公表）

（1）都市別国際会議開催件数

順位	2012年 (平成24年)		2013年 (平成25年)		2014年 (平成26年)		2015年 (平成27年)		2016年 (平成28年)	
	都市名	件数								
1位	東京(23区)	500	東京(23区)	531	東京(23区)	543	東京(23区)	557	東京(23区)	574
2位	福岡市	252	福岡市	253	福岡市	336	福岡市	363	福岡市	383
3位	京都市	196	横浜市	226	京都市	202	仙台市	221	京都市	278
4位	横浜市	191	京都市	176	横浜市	200	京都市	218	神戸市	260
5位	大阪市	140	大阪市	172	名古屋市	163	横浜市	190	名古屋市	203
6位	名古屋市	126	名古屋市	143	大阪市	130	名古屋市	178	横浜市	189
7位	千里地区	113	千里地区	113	千里地区	104	大阪市	139	大阪市	180
8位	神戸市	92	神戸市	93	札幌市	101	神戸市	113	仙台市	115
9位	仙台市	81	札幌市	89	神戸市	82	札幌市	107	札幌市	115
10位	札幌市	61	仙台市	77	仙台市	80	千里地区	94	北九州市	105
11位	つくば地区	53	北九州市	57	北九州市	73	北九州市	86	千里地区	85
12位	北九州市	45	つくば地区	51	つくば地区	66	広島市	59	広島市	76
13位	広島市	37	広島市	50	広島市	50	つくば地区	53	つくば地区	50
14位	千葉市	32	奈良市	31	奈良市	45	奈良市	36	千葉市	43
15位	奈良市	30	千葉市	28	岡山市	33	岡山市	33	奈良市	39

※1 千里地区とは、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市エリアを指す。

※2 つくば地区とは、茨城県のつくば市、土浦市エリアを指す。

- （2）認定基準
- ・主催者：民間企業以上
 - ・参加国：日本を含む3ヶ国以上
 - ・参加者数：50人以上
 - ・開催期間：1日以上

（3）2016年（平成28年）に開催された主な国際会議について

- ・G7北九州エネルギー大臣会合（5月 リーガロイヤルホテル小倉）
- ・第3回アジア未来会議（9月 北九州国際会議場・北九州大学北方キャンパス）
- ・2016国際ゴム技術会議（10月 北九州国際会議場）
- ・第2回ワンヘルスに関する国際会議（11月 リーガロイヤルホテル小倉）

2 MICE推進に向けたこれまでの取組み

(1) 北九州市MICE誘致推進本部を設置（平成26年6月）

MICE誘致に関し市役所全体で情報共有を図るため、市長を本部長として各局区室長が構成員となったMICE誘致推進本部を設置

(2) 観光庁からグローバルMICE強化都市に選定（平成27年～28年）

MICE誘致の実働部隊である北九州観光コンベンション協会が中心となり、海外の専門アドバイザーから技術的助言を受け、MICE誘致推進体制を構築

(3) 市内4大学との連携協定締結（平成27年8月）

市内4大学（九州工業大学、九州歯科大学、北九州市立大学、産業医科大学）と北九州商工会議所、北九州観光コンベンション協会、北九州市の7者で、コンベンション誘致・開催に関する連携協定を締結

(4) 北九州市グローバルMICE推進協議会を設置（平成28年8月）

「チーム北九州」でMICE誘致を推進するため、ホテル、旅行社、商工会議所など地元関係者と連携

(5) その他セールスの取組み

北九州観光コンベンション協会が中心となり、会議主催者や近郊の大学、各種商談会など年間約1,000件の誘致活動を実施

3 今後のさらなる取組み

(1) プレ・ポストツアーの充実

会議開催の事前（プレ）及び事後（ポスト）に開催される各種行事やツアーを充実させ、本市へのさらなる滞在や消費につなげる。

★小倉城天守閣前広場



★いのちのたび博物館



(2) ユニークベニューの活用

歴史的建造物や公的空間でレセプションを行い、参加者の方に特別な雰囲気を感じていただくことで、本市の魅力向上や他都市と差別化を図る。

今後期待されるユニークベニュー

★北九州モノレール



(3) インセンティブツアーの誘致推進

北九州空港の国際定期便の就航（平成28年10月大連便、12月釜山・仁川便）等により、本市へのツアーを増加させ、海外からの来北につなげる。



★ニコン中国インセンティブツアー